

みなさんのしゃべり場

2016年

11/13

申し込み不要
ドリンク1杯100円

花カフェ

だれでも気軽に立ち寄っていただけるコミュニティカフェです。花ハウスの生活相談員、地域包括支援センターの職員もテーブルを囲みます。1時間ほどの講話の後は、ゆっくりお過ごしください。

日時：2016年11月13日(日) 13:30～15:40

会場：特別養護老人ホームよみうりランド花ハウス

(川崎市多摩区菅仙谷4-1-4)

講師：たまふれあいクリニック 院長 鈴木 忠 氏

テーマ：「自宅で看取る

～患者はどう考え、家族はどう行動すべきか～」

人は一人で生まれ、一人で死んでゆくもの...、と言われます。しかし、一方で、人は両親がいなければこの世には存在せず、他者と関係を持つことでしか生きていけません。多くの方が人生の終わりを前にして、最期まで住み慣れた家で暮らしたいと願います。しかし、自分の願いだけでは逝くことはできず、周りの人々の“思い”の中で旅立つこととなります。私たちは人生の終わりに向かってどのように生きていくべきなのか、家族はどのように看取ったらよいのか。在宅医の立場で数多くの患者の看取りに関わってきた鈴木先生に、在宅死の問題について、医療と同時に死生学の視点から語っていただきます。



【講師紹介】

広い無料駐車場あります！

鈴木忠 1990年に日本医科大学医学部を卒業し東京女子医科大学消化器病センター外科に入局。1996年に横浜総合病院外科に入局し、癌外科医として手術や化学療法を行うだけでなく、看取りまでの幅広い医療に携わる。その後、医療コンサルタントとして病院の経営改善や医療の質の改善などのコンサルティング業務に従事し、複数の在宅診療所の勤務を経て、2012年に たまふれあいクリニック を開設。

※マイカーやバス、徒歩などでご来店いただくことが難しい場合、送迎について、事前にご相談ください。

【問い合わせ先】 044-969-3111 (後藤・大槻)

主催：社会福祉法人 読売光と愛の事業団